

## 2. CTにおけるSTAT画像所見報告と想定される疾患

山本 浩之 倉敷中央病院放射線技術部

当院が診療放射線技師による緊急性の高い疾患の画像所見報告(STAT画像所見報告)を本格的に始めたのは、2016年に国際医療機能評価機構であるJoint Commission International(JCI)認定を受審したことがきっかけである。JCI認定の評価項目の中で最も重要とされる国際患者安全目標(IPSG)の中に、「コミュニケーションの有効性を高める」という項目があり、そこからSTAT画像所見報告をスタートした。本稿では、当院におけるSTAT画像所見報告の実際と、代表的な画像所見のポイントについて述べる。

### STAT画像所見

当院にてSTAT画像所見として報告を求められる疾患および病態を図1に示す。これらは放射線科医師を中心として各診療科との協議の結果決定されたものである。当院のSTAT画像所見は、

「直ちに生命に危険が及ぶ可能性がある」と判断すべき疾患と、「早急に治療介入の必要があると判断すべき病態」に分類されている。STAT画像所見として報告を求められる疾患および病態は、3年ごとのJCI認定更新に合わせて見直しが行われ、最近追加された項目としては、動眼神経麻痺を伴う内頸動脈-後交通動脈分岐部(IC-PC)動脈瘤、脳底動脈-上小脳動脈分岐部(BA-SCA)動脈瘤がある。これは、脳神経外科より強い要望があったため追加承認された。また、今回、2025年3月上旬の4回目のJCI認定更新審査に向けて再度見直しが行われ、「胆道結石」が削除され、新たに「血腫」「大腿動脈閉塞」が追加された。

### STAT画像所見報告の取り決め

当院では、診療放射線技師がSTAT

画像所見である重大な疾患・病態を認めた場合には、20分以内に指示医に電話連絡し、その内容を電子カルテに記録することが義務づけられている。指示医が不在の場合、代理の医師(上席医師、指導医、主任部長)、または当該科のコンサルト医に電話連絡を行う。また、STAT画像所見か迷うような場合は、日勤帯であれば放射線科医師にコンサルトすることも可能である。この場合は放射線科医師が指示医に連絡し、電子カルテに記録することになる。

### STAT画像所見報告の実際

2021~2023年度までの3年間のCT検査におけるSTAT画像所見報告の内訳を示す(図2)。報告総件数は401件で、全検査数(約18万件)の約0.22%であった。報告の多かった肺血栓塞栓症(pulmonary thromboembolism:PTE)、気胸、脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)で50%を超えていた。その他としては、上腸間膜動脈(SMA)血栓症、腸閉塞、消化管出血、膿瘍などが報告されていた。報告患者の内訳は、外来患者54%、入院患者26%、救急患者20%であった。救急患者の多くは、医師が同伴しないwalk-in患者が報告対象となっていた。

#### 1. PTE

PTEは、肺がんや胃がん、大腸がんなど、外来患者のフォローアップ造影CT

◇直ちに生命に危機を及ぼす可能性がある以下についての所見が疑われるため、電話で報告した。

<input type="checkbox"/> 脳梗塞	<input type="checkbox"/> 大きな静脈血栓
<input type="checkbox"/> 脳出血	<input type="checkbox"/> 肝細胞癌破裂
<input type="checkbox"/> クモ膜下出血	<input type="checkbox"/> 消化管穿孔
<input type="checkbox"/> 急性硬膜下血腫	<input type="checkbox"/> 消化管出血
<input type="checkbox"/> 急性硬膜外血腫	<input type="checkbox"/> 消化管壊死
<input type="checkbox"/> 急性大動脈解離	<input type="checkbox"/> 重症肺炎
<input type="checkbox"/> 大動脈破裂	<input type="checkbox"/> 緊急性気胸
<input type="checkbox"/> 肺血栓塞栓症	<input type="checkbox"/> 部位の血管損傷による出血
<input type="checkbox"/> 上腸間膜動脈血栓塞栓症	<input type="checkbox"/> 外傷性頸蓋内出血
<input type="checkbox"/> 動脈/静脈麻痺を伴う内頸動脈後交通動脈分岐部(ICPC)、脳底動脈上小脳動脈分岐部(BA-SCA)動脈瘤	

◇偶発的に発見され、早急に治療介入の必要がある以下についての所見が疑われるため、電話で報告した。

<input type="checkbox"/> 悪性腫瘍(部位: <input type="text"/> )	<input type="checkbox"/> 総胆管結石嵌頓
<input type="checkbox"/> 気胸	<input type="checkbox"/> 心タンポナーデ
<input type="checkbox"/> 骨折	<input type="checkbox"/> 腸閉塞
<input type="checkbox"/> 胆嚢炎等の炎症増悪	<input type="checkbox"/> 血腫
<input type="checkbox"/> 血腫	<input type="checkbox"/> 大腿動脈閉塞
<input type="checkbox"/> 膿瘍	

◇その他:

図1 当院にてSTAT画像所見として報告が求められる疾患および病態の一覧